

ブロードウェイへ
ミュージカルを観に行くための
ガイドブック

はじめに

ニューヨーク旅行の楽しみとしてミュージカル観劇を考える人は少なくありません。初めての旅行で、せっかくだから本場のブロードウェイ・ミュージカルというものを観てみようかという方があるでしょう。映画や海外ドラマでおなじみのスター、あるいは有名ミュージシャンが舞台に出ているのを観たいという方もあるでしょう。朝の情報番組のニューヨーク・リポートで紹介された新作ミュージカルに興味を持たれた方もいるかもしれません。ニューヨークが初めての方、初めてではないけれども、今回は観劇を主目的にニューヨークへ行こうという方、動機も経験もさまざまあり…、要するにニューヨークへ行って、ミュージカルや演劇を観たい方々がいる。これは、そうした方々のための、観劇目的に特化したガイドです。

旅行のガイドブックはたくさん出ていますが、一般的な観光案内の中に、こうした特殊なテーマの情報は埋もれがちです。初めて行く人にはそれでも足りませんが、二度目三度目で今回は観劇を主目的に出かけようという人たちが自分たちに必要な情報を現在のガイドブックから見つけるのは、非常に困難です。

また、ブロードウェイ・ミュージカルに関する本もいろいろと出ていますが、そうした本の内容の多くはミュージカルの歴史や名作についてです。いま現在上演されている作品の情報は（超ロングラン作品を別にすると）基本的には載っていません。仮に載っていても、取材時期と本が出る時期とのズ

レで、情報が古くなってしまいます。だから、次の休暇に出かける旅行の計画にはあまり参考になりません。また、チケットを確保する方法があったとしても、ごく基本的なことに限られています。そもそも、日々変化する情報を扱うのに書籍は不向きです。

では、インターネットはどうか。ヒット中の作品の内容、スターの動向、チケットの取りやすさ取りにくさなど新しい情報は海外からのものも含めて膨大な量が流れています。しかし、それを取捨選択できるようになるには、それなりの知識と経験が必要です。掲示板などに、しばしば質問が挙がるのを見かけますが、的確な答が得られるかどうかは運次第です。運に任せるおもしろさもあるにはありますが、少なくとも計画の段階で運に頼るのは避けたいものです。

これはそうした観劇旅行に必要なノウハウをまとめたものです。この目的で5回以上出かけている人であれば、その人なりの方法が確立されているでしょう。このガイドはその手前にいる方々に向けたものです。お金をかけない方法に重点を置いているのは、私がケチだからという理由もありますが、お金を出して買う、手間と時間の内容を明らかにするためでもあります。

基本のポイントは3つ。①上演されている作品についての情報をどう探るか、②チケットの買い方、③劇場街の歩き方。それを詳細に紹介していきます。

目 次

①計画を立てる…………… 6

公演は週 8 回

上演中の作品は Playbill Online で調べる

リストの見方 席の名前 予約は必要か

ホテル選び

②事前にチケットを買う…………… 2 1

基本はインターネット予約

正規ルートで正規料金で購入

正規ルートで割引料金で買う

割増料金 買えなかった場合

③ニューヨーク到着…………… 3 7

開演時刻からホテルへ着くべき時刻を逆算する

空港からホテルへの移動

到着当日の観劇

④チケットを確認する…………… 4 2

ホテルでチケット最終確認

t k t s

劇場窓口でチケットを買う

⑤劇場へ…………… 5 1

入場 開演前に 休憩時間 終演後

⑥劇場街…………… 5 8

食事 お土産物店 CD, DVD 書籍

⑦ミュージカルに関連する観光…………… 6 5

ゆかりの地を訪ねてみる バックステージ・ツアー

おわりに…………… 7 4

コラム

一日最大何作観られるか… 9

予習は必要か?… 1 2

Shared Bath” 共同バスルーム… 1 9

チケットを間違っ買ってたら… 3 5

半眠半醒で観た「キス・ミー、ケイト」… 4 0

Rush Ticket は運次第… 4 9

キャンセル待ちは運と体力… 5 0

開演前のアナウンス… 5 4 バンデラス夫妻… 5 7

オン・ブロードウェイとオフ・ブロードウェイ… 6 1

劇場の名前… 6 2 日帰り地方劇場… 7 1

トニー賞… 7 4

①計画を立てる

さて、これは観劇旅行のためのガイドですが、メインの目的は他にあるけれども、観劇もしたいという方にも有用な情報を載せたいと考えています。

しかし、仕事や学会での出張、ショッピング、スポーツ観戦の間に、せっかくニューヨークへ来たのだからブロードウェイ・ミュージカルというものを一度くらい見てみようかという姿勢の方には、ここからしばらく続く話はしつこすぎるかもしれません。そういう方は、ここは飛ばして21ページの「事前にチケットを買う」へ進んでください。

また、これを読んでいるあなた自身の目的は観劇だとしても、一緒に行く方の意向は大丈夫ですか？ 毎日夜8時から3時間程度を劇場で過ごすという行動パターンの繰り返しは、観劇に興味のない方には拷問に近いものがあり、かなりの確率でケンカになります。長年の友情が破綻に至ることもありえます。ご家族でいらっしゃる場合は、無用の波風を避ける意味でも、落ち着いたディナーを楽しむ晩も計画に入れましょう。このあたりは大きなお世話ですが。

観劇という目的は一致していても、観たい作品もすべて一致しているかどうかはわかりません。それぞれ違う作品を観に行く日があってもいいでしょう。ほとんどの劇場は徒歩圏にあって、上演時間も二幕ものならだいたい同じくらいなので、終演後にどこかで待ち合わせればいいのです。また、人気作品となると、並んだ席は取れなくても、一人ずつなら買えるということも

あります。もちろん無理に別行動をする必要もないし、あえて離れた席で観ることもないです。しかし、さまざまな状況で何を優先するのか、話し合いはしておくに越したことはありません。これもまた大きなお世話ですが。

さて、無事に話し合いがまとまったか、決裂して単独行動をすることになったか、とにかく結論が出たところで、具体的な観劇旅行計画の立て方です。まとまった日数の休暇を取れる方もあるかと思いますが、一般的などころでは5泊7日～7泊9日くらいでしょうか。この限られた滞在日数を有効に使って、できるだけ多くの観劇をする計画の立て方をご紹介します。

またまた大きなお世話ですが、ひとつ念のためにお断りしておきます。これは、あくまで観劇最優先の、はっきり言ってしまうとかなり極端な計画です。この通りに実行することも決して不可能ではないですが、不可能ではないからと言って、為すべきこととは限りません。

I 公演は週8回

ブロードウェイの劇場では原則として**週8回公演**があります。公演時間は休憩15分をはさんで、2時間半程度、3時間越えはまずありません。最も一般的な週間スケジュールは、**月曜休演、ウィークデーは夜8時開演（火曜は7時）、昼公演は水曜と土曜の2時開演。日曜は昼のみ（開演時間はいろいろ）**。

一般的というのはつまり例外があるということです。週8回公演は変わり